



き ほしぞら教室 らっと流れる流れ星も発見

10月6日、床潭小学校グラウンドで『ほしぞら教室』が行われ、子どもたちやその保護者45人が参加しました。

当初は5日に開催する予定でしたが、曇り空のため日にちをずらしての開催となり、6日は天の川がはっきり見えるほど絶好の空模様。空を見上げながら専門員から説明を聞いてみると、流れ星が見えることもあり、参加者は大盛り上がり。望遠鏡や釧路市こども遊学館の移動天文車カシオペア号から、月や火星、土星などを観察しました。

秋 第21回町民ファミリーマラソン大会 晴れの中、笑顔でゴール

10月10日の体育の日、宮園運動公園で『第21回町民ファミリーマラソン大会』が行われ、69人が参加しました。

体力の向上と世代間の交流や親睦を深めることを目的に毎年行われており、宮園公園周辺を走る1・5km、3km、4kmのコースから、自分の体力に応じた距離を選んで走りました。

友達に負けじと頑張っている子どもたちや、保護者と一緒に笑顔でゴールする幼児もいて、スタート前は寒そうにしていたが、ゴール後には爽やかな汗を流していました。



サ 食育教室 ンマの三枚おろしに挑戦

町内の中学1年生を対象に食育教室が各中学校で行われ、厚岸で水揚げされたサンマを使った料理教室が行われました。

使用されたサンマは厚岸漁業協同組合から提供されたもので、漁協女性部の皆さんが講師となり教えました。

10月11日には、真龍中学校1年A組の31人の生徒がサンマの三枚おろしに挑戦。ほとんどの生徒が三枚おろしにするのは初めてでしたが、身をぼろぼろにする事もなく、上手にさばっていました。



防 厚岸町総合防災訓練 災意識を高めました

10月16日、『厚岸町総合防災訓練』を実施しました。

第1部は避難訓練を行い、大地震発生、大津波警報が発表されたことを想定し、防災行政無線や緊急速報メールで近くの避難場所への避難を呼びかけました。

第2部は太田活性化施設らくとびあで避難所運営訓練を行いました。太田自治会を中心に避難所運営本部を設置し、避難者や食料・物資の受け入れ、段ボールベッドなどの組み立て訓練の他に、さまざまな展示や体験コーナーもありました。



秋 第54回あっけし牡蠣まつり の味覚を堪能

10月1日から10日までの10日間、子野日公園を会場に『第54回あっけし牡蠣まつり』が開催されました。

イベント日の2日と9日は晴天にも恵まれ、期間中には約4万300人が訪れました。家族や友人、職場の仲間などと焼き台を囲み、カキやシイタケなどの厚岸の味覚を堪能しました。

9日に行われたカキのつかみどりには、司会者がアナウンスをする前から長い列ができるほど。参加者は気合いを入れてつかみどりに挑戦していました。9日はお笑い芸人ハマカーンのステージも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

厚 第8回あっけし産業感謝祭 岸の海と山の恵みに感謝

9月25日、厚岸漁業協同組合、釧路太田農業協同組合、厚岸町商工会主催の『第8回あっけし産業感謝祭』が厚岸漁港荷捌所内特設会場で開催されました。海産物や野菜が格安販売されていることもあり、たくさんの人で賑わいました。

ステージでは極みるく65の牛乳早飲み大会や海産物セリ大会などのイベントを開催。サンマのつかみ取りやジャガイモの詰め放題には多くの人が集まり、海の幸と山の幸の恵みに感謝した祭りとなりました。



恒 厚岸町戦没者追悼式 久の平和を誓いました

10月5日、『厚岸町戦没者追悼式』が社会福祉センターで行われ、本町出身の245人の戦没者の霊を慰めようと、遺族や関係者らが参列しました。

式では追悼吟詠が行われた後、遺族をはじめとする参列者全員が順番に祭壇に献花し、戦没者の冥福を祈りました。遺族会の稲井正義会長は「多くの遺族が高齢となり、追悼式に参加できる人も年々少なくなっていますが、我々が次の世代にしっかりと語り継いでいきます」と述べていました。